会　議　録　（1）

会 議 の 名 称	第３回入間市学校統合委員会（宮寺・二本木地区小学校）
開　催　日　時	令和８年８月２１日（金） 午後７時００分　開会・午後８時１３分　閉会
開　催　場　所	宮寺・二本木地区センター　１階　大会議室
議　長　氏　名	竹野谷　久江
出席委員（者）氏名	塩澤　榮一、田島　浩、布施川　利夫、吉川　哲夫、古谷　仁、嶋澤　みづほ、石塚　恭子、大橋　忍、小野　洋希、秋元　秀一、竹野谷　久江、本橋　健
欠席委員（者）氏名	遠藤　誠、根本　章、北村　陽子、松浦　信也
説明者の職氏名	教育総務課主幹（学校統合調整室）森　正行
会　議　次　第 （公開・非公開の別）	１　開会 ２　委員長あいさつ ３　議題 （１）通学方法と交通安全対策について （２）学校の名称について （３）その他 ４　その他 ５　閉会
非 公 開 理 由	なし
傍　聴　者　数	７名
配　布　資　料	第３回入間市学校統合委員会（宮寺・二本木地区小学校）次第 宮寺小通学路及び通学路案 危険箇所写真・意見 統合後の学校の名称決定方法について
事務局職員職氏名	教育部長　浅見　泰志 教育部次長　増岡　哲也 教育部参事兼教育総務課長　中村　正幸 教育部副参事（教職員指導担当）上村　晋哉 教育部教育総務課学校統合調整室長　吉田　純子 教育総務課主幹（学校統合調整室）森　正行 教育総務課副主幹（学校統合調整室）西澤　正行 教育総務課主任（学校統合調整室）小宮　弘嗣 教育総務課主事補（学校統合調整室）穂坂　圭祐
会議録作成方法	要点筆記

会　議　録（2）

議事の概要（経過）・決定事項
1　開会 2　委員長あいさつ 3　議題 （1）通学方法と交通安全対策について 資料に基づき説明し、意見を募る （2）学校の名称について 資料に基づき説明し、意見を募る （3）その他 4　その他 次回委員会予定について連絡 5　閉会

会　議　録（3）

発言者	発言内容
	開会 令和８年度第３回入間市学校統合委員会（宮寺・二本木地区小学校）の開会
竹野谷委員長	（竹野谷委員長あいさつ）
竹野谷委員長	これより議長を務めます。議事がスムーズに進行できますよう、ご協力をお願いいたします。 本日の出席委員は、１２名です。欠席の連絡を、遠藤委員、根本委員、北村委員、松浦委員からいただいております。本日の議事録署名人ですが、私のほかに、田島委員にお願いいたします。 議題（１）通学方法と交通安全対策について 事務局に説明を求めます。
森主幹	（事務局説明）
竹野谷委員長	事務局より、議題に関する内容説明がありました。 委員から、ご意見等をお願いいたします。
本橋委員	ＪからＳに向かうルートについては、荻原地区や的場地区の児童が利用することになると思われます。その場合、Ｒ・Ｓ地点にシルバー人材センタースタッフや保護者の配置が必要になると考えられますが、人員確保が難しくなるのではないかと思います。むしろＪからＩまで直進した方が、配置人員の削減につながるのではないかと思いました。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
小野委員	統合後、狭山小学区の保護者が現宮寺小学区の旗振り当番を担当するのは難しいと思います。そうなると、宮寺小学区の保護者の負担が増えてしまうのではないかと思います。宮寺小は児童数が少な

発　言　者	発　　言　　内　　容
	いため、現在でも保護者の負担が大きく、シルバー人材センターの活用についてはＰＴＡ会費で補っていますが、経費も増加してしまうと思います。市としてこの点も踏まえて検討していただきたいと思います。 　また、宮寺小の保護者に改めて意見聴取を行い、保護者から危険箇所を聞いた上で、次回の委員会で報告させていただきたいと考えています。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
秋元委員	旗振り当番や危険箇所への対策について、市で対策を行うために協議中という認識で間違いありませんか。
吉田室長	危険箇所への対応が可能かどうかについて協議中です。対応の確約はできない状況です。
秋元委員	検討をよろしくお願いします。狭山小学区の保護者が旗振り当番へ出向くことは難しく、土地勘のない地域で誘導を行うとなると、かえって危険な状況を招く可能性があります。統合に当たり、市の具体的な対応方針をお示しいただきたいと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
小野委員	危険箇所のＡ・Ｍ地点では、大雨時には側溝から水が溢れ、水の流れが速くなることを近隣の方から聞きました。低学年の児童が流される危険があります。 　また、Ｄ地点において保護者が見守りを行っているが、Ｄ・Ｅ地点は交通量が多く、（禊川は）雨が強い時には水かさが増す上、川の流れが速くなります。これらの地点は低学年の児童にとって特に危険なので、重点的な対策をお願いしたいと思います。
塩澤委員	スクールバスの利用対象外である２キロ未満の区間を徒歩通学することになると、統合に伴い児童数が減少する中、保護者の負担が増えてしまうと思われます。このことについては、是非前向きなご

発　言　者	発　　言　　内　　容
	検討をお願いしたいと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
本橋委員	歩道橋（Ｐ及びＱ地点）に向かう道路で複数の通学ルートが合流することになると思います。この区間は抜け道として利用され、朝間の交通量が多いと聞いたので、Ｑ地点からＴ地点付近までスクールゾーンに設定したらどうかと思いました。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
吉川委員	立哨の関係からＪ・Ｒ・Ｓ地点を通るルートを通学路として設定しない方が良いとの意見がありましたが、Ｉ地点に向かって北上するルートは児童にとっては遠回りとなってしまい、かわいそうだと感じました。いずれにしても、歩道がない箇所が多いため、対策の検討をお願いいたします。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
石塚委員	宮寺地区全体として歩道が不足しているという印象を受けています。私は通勤の際に扇小学区を通ります。１６号線沿いの渡辺石材付近については、ガードレールはありますが、大型トラックが高速で走行しています。その先のバス通り沿いは歩道がありませんが、扇小の通学路として設定されています。宮寺・二本木地区の小学校においても、（扇小学区同様に）歩道橋を渡る必要があります。同様の状況が統合後に生じるのではないかと懸念されます。 ２０年前、私の子どもが小学生の頃も危険であり、事故が発生していました。 保育所では、大人が付き添い安全を確認しながら散歩を行うため、側溝にふたがなくても落ちることはなく、危険な状況を声かけで回避しています。しかし、小学生は先生や保護者の付き添いがないため、危険が増えると思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。

発　言　者	発　　言　　内　　容
小野委員	危険箇所Ｊ地点では、一時停止違反と直進車の接触事故が多いです。対向車が一時不停止で交差点に進入することや、カーブが掛かっているため直進方向が見えにくいという構造上の問題があり、危険性を感じております。通学路として設定する場合は、信号機の設置をご検討いただいた方がいいと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
本橋委員	通学路の議論となるとどうしても宮寺小学区中心になってしまうので、狭山小学区についても確認してきました。前回資料「通学路に関する課題」の危険箇所１番から９番を見てきました。 狭山小学区は、宮寺小学区とは異なり、工業団地の近くにあるため、３０トン級の大型トラックが多く通行しています。午後３時頃に確認した際も大型トラックが通行していたので、朝は大丈夫だと思いますが、帰りの下校時間帯は非常に危険だと感じました。資料に記載されているとおり、路上駐車が多く、工業団地の駐車場も多くあります。また、２年後にスーパーがオープンするとなると、交通量がさらに増加し、下校時間帯の安全がより懸念されます。 狭山台商事前の交差点に信号機を設置すれば、速度抑制に繋がると思いました。 また、狭山小学区の最遠地から通学する児童の所要時間について田島校長にお聞きしたいと思います。 統合するに当たり、宮寺小学区だけでなく、狭山小学区の危険箇所についても、田島校長や秋元委員にお聞きした上で、対策を検討する必要があるのではないかと思いました。
田島委員	狭山小学区についてもお気遣いいただき、大変うれしく思います。 狭山ゴルフクラブの近くに住む児童も少なからず在籍しており、通学に３０～４０分を要する状況です。２年後のスーパーオープン

発　言　者	発　　言　　内　　容
	に伴い、道路交通事情も大きく変わってくるのではないかと予想されます。 　そうした中で、現在の課題は、狭山小学区の児童は今後も同じ通学路を利用し続けることになるのに対し、宮寺小の児童が新しい学校に移ることです。そのため、宮寺小側の通学路をメインに検討していただくことでよいのではないかと私は考えています。 　また、狭山台商事から東野高校方面へ向かう変則十字路への信号機設置については、以前から警察に要請していますが、「設置は難しい」という回答が続いているとのことです。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
秋元委員	危険箇所９番の地点など、縄竹方面への通学ルートでは、帰宅時に児童が１人で歩く時間帯が生じます。セブンイレブンは中高生の利用が多いため、避けて歩く小学生もいると聞いたことがあります。
浅見部長	貴重なご指摘をいただき、ありがとうございます。いただいたご指摘は、市民生活部門および道路整備部門と協議いたします。 　信号機については、警察との協議が必要です。先ほどのご指摘を踏まえ、通学路変更の状況を説明した上で、改めて申し入れを行う予定です。 　今後も継続してご意見をお寄せいただき、統合までの間に実施可能な対策を着実に進めてまいります。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
田島委員	危険箇所の写真資料を確認したところ、地点Ｆ、Ｈ、Ｎ、Ｔなど、白線が経年劣化により薄れている箇所が複数あります。 　白線の劣化は避けられないことですが、警察に早めに連絡していただき、白線を引き直していただけるとありがたいです。 　昨年８月、教員から横断歩道の白線が薄く見えにくいという指摘

発　言　者	発　　言　　内　　容
	があり、狭山警察署の交通規制係に連絡しました。実際に白線が引き直されたのは半年以上経ってからでしたが、薄かった箇所がきちんと引き直され、「止まれ」の表示も見やすくなり、横断歩道もはっきりと見えるようになりました。早めに警察に声かけしていくことが大切だと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
本橋委員	通学路案がある程度決まったら、時間がある委員で構いませんので、市職員と一緒に実際に歩いて、現地で危険箇所を確認できたらいいと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
本橋委員	添付されている資料を保護者に配布してもよろしいでしょうか。実際に生活している保護者の意見を聞いた上で、「こういった案が出ています」と共有できたらと思います。
吉田室長	あくまでも案ではあることをお伝えしていただくことを前提であれば問題ありません。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
本橋委員	スクールバスの運行圏内についても、まだ案の段階という認識でよろしいでしょうか。２キロ以上という基準で判定されているようで、私の家は徒歩圏内に入っていますが、道のりでは２キロ前後ぐらいだと思います。直線距離で測定されているのでしょうか。
浅見部長	スクールバスの運行圏内の線引きについては、まだ決定していません。ただし、学校から２キロという基準は、宮寺小学区だけでなく、市全体でスクールバス導入を検討する際の基準となっています。この２キロという基準については、簡単には変更できないとお考えください。 現在は円形で簡易的に表示していますが、実際の道のりと直線距離の関係など、細かい調整は今後行う予定です。なお、宮寺・狭山

発　言　者	発　　言　　内　　容
	小学区については、国道１６号線を渡る際には歩道橋を渡る必要があります。狭山小から歩道橋までが０．５キロであるため、歩道橋から１．５キロという基準になっています。いずれにしろ、直線距離での測定となっています。
吉田室長	本日は通学路案の基本となる部分についてご意見をいただき、それに基づいた対策案についてご説明させていただいた次第です。次回以降、スクールバスについての議論に進めればと考えております。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。 ないようですので、ここまでといたします。なお、通学路案について示されたのは本日が初めてですので、この後改めて通学路案をご覧になったり、周囲の方とお話になったりしてご意見がありましたら、事務局までご連絡いただくか、次回の学校統合委員会の場でお話しいただければと思います。 事務局におかれましては、通学方法と交通安全対策への対応について、現在進めていただいている各部署との調整を、委員から出された意見も踏まえて進めていただき、調整内容を次回の学校統合委員会の場で示していただきますようお願いいたします。
竹野谷委員長	議題（２）統合後の学校の名称について 事務局に説明を求めます
森主幹	（事務局説明）
竹野谷委員長	事務局より、議題に関する内容説明がありました。 委員から、ご意見等をお願いいたします。
古谷委員	前回の委員会で、児童の発想を生かした名称という意見が多くありました。私もそれが良いと思います。提示いただいた３案の中では、児童ができるだけ関わることができる３つ目の案が良いと思い

発　言　者	発　　言　　内　　容
	ます。 　ただし、教育委員会が最終的に異なる案を選定する可能性があります。そうなると、児童に選んでもらったのに違う案になってしまい、児童の失望感が大きくなってしまうのではないかと懸念されます。 　そのため、事前の絞り込み段階で、どの案が選ばれても問題ないようにしておき、最終決定は児童にゆだねる方が良いと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
小野委員	学校がすべての業務を担当することになると、かなり大変だと思われます。市のホームページなどを活用したアンケート形式での実施は難しいでしょうか。 　学校で集計した児童の意見で校名が決まったとしても、納得できない保護者が学校にクレームを入れる可能性があります。そうなると、学校は集計に大変な思いをした上、市に託したにも関わらず、問い合わせが学校に集中してしまうのではないかと懸念されます。 　そのため、学校を通すよりも、市のホームページなどを活用し、アンケート形式で実施する方が良いのではないかと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
嶋澤委員	児童の意見にゆだねることは素晴らしいと思いますが、ある程度の候補案を事前に絞り込んだ上で、児童に選定させる方法が現実的ではないかと思います。 　児童から膨大な意見が出てくることが予想されます。また、どの学年まで対象にするかという課題もあります。全学年対象にするのか、高学年に限定するのかによって、対応が変わってきます。 　事前にいくつかの候補案を絞り込んだ上で、児童に具体的に選定させる方法が良いのではないかと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。

発　言　者	発　　言　　内　　容
大橋委員	児童の案を取り入れるというポイントが検討案に盛り込まれているのは素晴らしいと思います。しかし、膨大な意見をどのように選定していくかが課題です。また、保護者の思いも強いとお聞きしているので、どのようにまとめていくかが大きな課題だと思います。 先生たちの負担や保護者の意見の相違により、学校が疲弊することなく決定できたらいいと思っています。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
古谷委員	児童に投げかけるという点については、児童会を中心に検討してもらうことで、６年生のリーダーシップの下、効率的に進められるのではないかと思いますが、いかがでしょうか。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
吉川委員	現在の児童は卒業してしまい、統合後に通う児童ではないため、児童にこだわらずとも良いと考えます。公募であれば、地域の人を対象とするのが良いと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
田島委員	前回の議論では、子どもの意見を尊重したいというのがメインだったと思います。私もそれが良いと考えます。 事務局から提示いただいた３案の中で、３番は折衷案だと思っています。 現在在籍している児童は新しい学校には通わないため、入学してくる年長児童が対象になります。ただし、年長児童に直接聞くのは難しいと思われます。 児童からいろいろな案を出してもらい、事務局で整理し、統合委員会で検討した上で、最終的に児童に決定させるという流れであれば、児童の意見を取り入れた上で、みんなで考えて作り出した校名となると思います。 したがって、私は３番案に賛成です。

発　言　者	発　　言　　内　　容
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
塩澤委員	児童にどのように進めてもらうかが大きな課題です。宮寺小学校は現在５年生が２クラス、６年生が１クラスですが、担任の経験値は様々です。 入間市が推進している「学び合い」を活用することで、児童たちにとっても良い学びになると思います。 ５・６年生の担当となる教員は４名。５・６年生の３クラスを混合にした４つのグループを作って活動することがございます。委員を担っている児童がリーダーシップを発揮することで、各グループの学び合いから出る意見がよいものになると考えています。 ３つ目の案の形で、学校側から児童に投げかけた上で、児童たちの学び合いから出た提案を事務局に上げていけば、極端な案が出にくいのではないかと思っています。 ただし、現在の児童たちは新しい学校には関わらず、武蔵中に進学してしまいます。そのため、「後輩たちのために、みんなで良い知恵を出してくれ」という形で、児童たちに「俺たちが作ったんだ」「私たちも作ったんだ」というイメージを持たせることで、児童たちが一生懸命取り組めるのではないかと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
石塚委員	保育所の園児に校名案を聞いても、理解できないと思われます。子どもたちは、小学校への入学を楽しみにしていますが、校名を考えるところまでは、考えが至らないと思います。園児たちが理解できるのは、自分たちが通う学校が一緒になるという程度だと思われます。 そのため、小学校の児童が後輩のために校名案を考えるという形で、取り組んでいただけるといいと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。

発　言　者	発　　言　　内　　容
大橋委員	塩澤委員のお話を聞いて、本当に素晴らしいと思いました。「後輩のために」という投げかけがポイントだと感じます。 投げかけを統一して「後輩のために、みんなの力を出してほしい」というメッセージで、児童たちに働きかけることで、より良い案が出てくるのではないかと思います。その可能性を聞いていてワクワクしました。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
小野委員	３つ目の案がいいと思います。確かに現在の児童たちは卒業後、新しい学校に通わないという課題はありますが、１０年後、２０年後に「俺たちで校名を決めたんだ」という思い出は、郷土愛につながるのではないかと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
秋元委員	児童たちがメインで進めるのが良いと思います。 児童たちに校名案を考えてもらう際に、両校の発祥の歴史や校章の由来などの背景情報を添えて提示すると、より良い意見が出るのではないかと思います。また、地元の歴史を調べることも良い学習になると思います。 通学できない児童もいると思われるので、ホームページで対象児童の家庭に案内を出し、Ｗｅｂ上でアンケート集計を行うのが良いと思います。 ３つ目の案についてですが、学校統合委員会で絞り込むプロセスは必ずしも必要ないのではないかと思います。児童から出た案を事務局で整理した後、直接児童に投票させる方法でも良いのではないでしょうか。児童たちの意見は想像以上に優れたものが出てくると思われます。統合委員会が介入することで、ハレーションが起きる可能性があるため、児童の意見を信じて進めるのが良いと思います。

発　言　者	発　　言　　内　　容
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
本橋委員	３つ目の案が良いと思います。 こちらで複数の校名案を提示した上で、児童に選んでもらう方法であれば、児童も関わることができると思います。 また、ホームページでの投票が難しい場合は、地区センター等に投票箱を置き、期間を決めて地域の人に投票してもらうという方法もあるのではないかと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
布施川委員	３つ目の案が良いと思いますが、児童の対象学年をどうするのかという課題があります。できれば保護者を交えた形で、全学年対象にするのが良いと思います。児童だけで考えさせるのは、少し危険性があると思われるため、家庭の保護者にも参加していただきたいと思います。 ３つ目の案の④「児童による投票を行う」という項目について、ですが、児童が投票して投票数が多かった名称と、最終的に教育委員会が決定する名称が異なった場合、どのような理由づけをするのか心配です。 前段として、児童に名称案を出してもらい、複数の候補を事務局で整理し、統合委員会で意見を聞いて案を絞り込むプロセスで十分ではないかと思います。わざわざ児童による投票を行う必要はないのではないかという考えです。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
竹野谷委員長	児童にとってのおじいちゃん、おばあちゃんなど、既に宮寺小を卒業した世代も含めて、家族で話し合う場を設けるのが良いと思います。 家族で団らんする機会が減っている中で、新しい校名についての話し合いを家族で行うことで、世代を超えた交流の場になるのでは

発　言　者	発　　言　　内　　容
	ないでしょうか。 　１家族１票といったイメージで、各家族の代表として児童が「うちの家族ではこのような意見になりました」という形で、意見を集約するのも良いと思います。 　特に宮寺小の保護者の方々は、これまで様々な思いを抱いてきたと思われます。校名の決定に向けて、家族単位で話し合い、児童にゆだねるという形であれば、より多くの方々の信頼を得られるのではないかと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
秋元委員	校章のデザインは、デザイナーが作成したのでしょうか。
嶋澤委員	狭山小の校章は、私が小学校６年生の時の担任の野崎先生が授業中に考案してくれたものです。
秋元委員	校章の選定に当たり、第三者による審査があれば、公平性が高まると思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。
上村副参事	貴重なご意見をありがとうございます。私は昨年まで小学校の教頭をしており、今年から行政に携わっています。児童の思いを校名に反映させることは、市長・教育長も掲げている方針であり、私も大賛成です。 　現在の話し合いの中では、多数決で決めるという流れが一般的だと思われますが、個人的には、必ずしも多数決である必要はないのではないかと思います。投票数は少なくても、きらっと光る素晴らしい案が隠れているかもしれません。地域の歴史を背景にした思いのある名前であれば、たった１票でも、大人である私たちがそれを引き上げるのも役目ではないかと思います。 　本日は、具体的な校名を決めるのではなく、選定方法や基準、児童の意見をどのように吸い上げるかについて検討する段階だと思い

発　言　者	発　　言　　内　　容
	ます。 　学校での授業を通じた話し合いも大切です。また、現在、児童は１人１台タブレット端末を所有しているため、アンケート実施が可能です。例えば、小学校・中学校に関わらず、希望する校名とその理由や思いをタブレットでアンケート回収することができます。授業ではなく、朝自習の時間など１０分程度であれば、校長先生方のご協力をいただければ、全員から回収することも可能だと思います。 　竹野谷委員がおっしゃった通り、投票実施の１ヶ月前から家族で話し合う時間を設け、「こういう形で投票するから考えてきてね」と呼びかけるのが良いと思います。その後、投票を実施すれば、多くの意見が集まると思われます。吸い上げたものを大人の力で形にしていくという方法がよいと思います。 　児童の意見を取り入れていただけるというのは、本当にありがたく、嬉しいことだと思います。
竹野谷委員長	ほかにありますでしょうか。 　ないようですので、ここまでといたします。事務局におかれましては、本日示された、統合校の名称の決定方法への委員の意見を踏まえ、事務を進めていただきますようお願いいたします。
竹野谷委員長	議題（３）その他 　委員の皆様から何かありますでしょうか。 　ないようですので、本日の議題は全て終了とします。 　これにて議長の任を解かせていただきます。
司会	その他 事務局より、次回の委員会日程について連絡いたします。次回の学

発　言　者	発　　言　　内　　容
布施川副委員長	校統合委員会は、１０月１日（木）を予定しております。 閉会 （布施川副委員長よりあいさつ）

議事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 8 年 9 月 18 日

議長の署名　竹野谷　久江

議長が指名した者の署名　田島　浩